

2019年度大学院応用言語学研究科博士後期課程入学試験問題

No. 1/6

研究科	試験科目
応用言語学研究科	日本語

問題1. ()に入る最も適当な語を書きなさい。

1. 彼の服装はその会場においては()であった。
2. 海外に旅行中シンガポールで偶然にあった彼を()ところ、しばらく仕事を休んでいるとのことだった。
3. 江戸時代の海外使節団はエジプトのピラミッドを初め見て、その大きさに()されたという。
4. 彼はブロードウェイのミュージカル俳優のサインをもらって、みんなに()ていた。
5. あの小学校は、外国語教育に()をおいた教育方針を推進したことで、今では知名度が上がっている。

問題2. 文の意味が通じるように、()に適当な語を入れなさい。

1. 名というものは、むろんこういう個人を表わす(①)記号にかぎらない。ある家族全体、あるいは血縁につながる一族に共通の呼び名(苗字)、また、いろいろな姓名を持つ人々によって形成される集落や(②)の名称(たとえば、京都とか三菱とか)、さらには、一つの時代や地域の名称(たとえば、明治とか出雲とか日本とか)のように、あるまとまった一体として考えられるものを特に指示するものとして、さまざまの名がある。
2. ある社会言語状況が超民族語の出現を(③)するのは、たしかに明白な事実であるにもかかわらず。たとえば、言語の多様性や(④)された言語状況は、政治的ないしは経済統一と組み合わさると、つねに(⑤)の勢力拡大に適した条件を生み出す。
3. 世界の(⑥)の中で、最も比較言語学の研究が進んでいるのは、インド・ヨーロッパ語族の(⑦)である。
4. 「～したばかりである」という(⑧)を表わす中国語の副詞「剛」も単なる語彙的な(⑨)というレベルに収まらない。
5. 単語の要素に、単独になれない(⑩)が付いてできた言葉が(⑪)です。(⑫)には接頭辞と接尾辞があります。

2019年度大学院応用言語学研究科博士後期課程入学試験問題

No. 2/6

研究科	試験科目
応用言語学研究科	日本語

問題3. ()に入る語として最も適当な語を下記の中から選び、その記号を書きなさい。

1. 鞄の()が壊れて、閉まらなくなってしまった。

- ① コーナー ② スマート ③ ファスナー ④ ナンセンス

2. そのニュースは、いろいろな()で取り上げられている。

- ① サイクル ②タレント ③アクセント ④メディア

3. 体の()がくずれると、生活全般に影響が出る。

- ① コメント ②コンディション ③ユーモア ④ガレージ

4. この大学の研究は、電子工学の分野では世界を()するほどの水準である。

- ① リード ②ボルト ③セクション ④ナイター

5. サッカーの選手に、グランドの脇から応援する人たちが、()と声をかけていた。

- ① ファイト ② ホール ③ メーター ④ カップ

2019年度大学院応用言語学研究科博士後期課程入学試験問題

No. 3 / 6

研究科	試験科目
応用言語学研究科	日本語

問題4. 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

2019年度大学院応用言語学研究科博士後期課程入学試験問題

No. 4 / 6

研究科	試験科目
応用言語学研究科	日本語

問1 下線部(2)返事は、「ご迷惑をおかけしています」とあるが、なぜこのように返事をするのか、下線部(1)会話には、「間違ったことを言わない」「関係ないことを言わない」「分かりにくい表現をしない」などの了解があるという前提を踏まえて、言外の意味を理解したメカニズムをわかりやすく説明しなさい。

問2 下線部(3)さじ加減が重要とあるが、具体的にはどのようなことか、わかりやすく説明しなさい。

問3 下線部(4)「食べました」というきっぱりとした返事にも、言外の意味があるとあるが、どういう意味がこめられているのか、わかりやすく説明しなさい。

2019年度大学院応用言語学研究科博士後期課程入学試験問題

No. 5 / 6

研究科	試験科目
応用言語学研究科	日本語

問題5. 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

2019年度大学院応用言語学研究科博士後期課程入学試験問題

No. 6 / 6

研究科	試験科目
応用言語学研究科	日本語

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問1 下線部(1) 一般のネット利用者への影響が大きい割に議論が拙速だ とあるが、どのような点で「拙速だ」というのか、わかりやすく説明しなさい。

問2 下線部(2) スケジュールありきで議論が進んだ とはどういう意味か、わかりやすく説明しなさい。